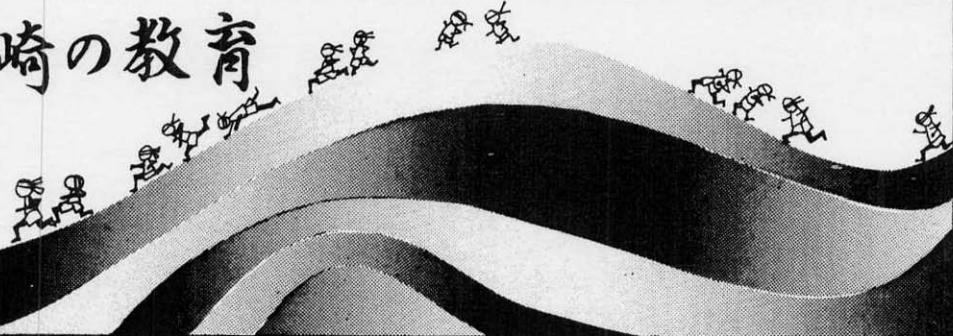


月報

岡崎の教育



11月号

さわやかな
一日が始まる。

明るいあいさつで
南中の朝が始まる。
心がつながった
この一瞬、

おはようございます。
おはよう。
おはようございます。

昭和60年11月1日
編集／発行
岡崎市教育委員会



(PTAも参加する登校指導 — 南中)

芸の道はすべてそうだと思いますが、以前は碁も一旦志を立てたら、それぞれの先生をもとめて東京の先生の下へ弟子入りして本場の修業をするのがならしでした。

その先生に直接教えてもらうことは望めないけれども、それぞれの先生の弟子どもが各自に「○○研究会」とか「××会」とかを組織して、お互いに交流して

棋書が氾濫して思いのままの選択ができるのですが、私の時代にはくわしい棋書はほとんどなかつたのです。

東京に行かれない——、名古屋には好敵手がない——、仕方がないから棋書

による勉強だけ夢中にしました。

昭和三年か四年ごろ名古屋新聞が囲碁欄を広げて中部日本の打ち手を選抜して勝抜戦を催しました。当時名古屋には稻

昭和六年、満十八才でした。

同氏と一緒に上京し、お手配してあつた宿舎に旅装をといた翌日、日本工業俱

楽部へ連れて行つてくださいました。こ

こは財界有力者の集合されるところで、

囲碁部はなかなか盛んであり、瀬越憲作

先生も指導に来てみました。そのよう

なことで私は瀬越先生にお世話になるこ

とになり、赤坂溜池にあった日本棋院へ

の出入りを自由にしていただきました。

東京での勉強は約二ヶ月で、その間、

瀬越先生に一局、他の先生に三局打つて

いたときました。その他には毎日のよう

に棋院へ通つて手合の見学や誰彼となく

若手同士の対局をしました。

とにかく東京ではよく負けました。私の碁は田舎碁で、力は無双に強いのです

が、布石の論理に暗いのが欠点で、布石で

やられてしまうのでした。

悔しかった二か月の東京生活で得た体験は、やがて私の「ハボ筋」、田舎碁の開

眼につながり、それから数年経つ頃から

りきれない気持ちでおりました。

ある時、日頃蟲屋にしてくださつていなかか打つてもらいう機会はないし、外に

強い人はいないし、相手もないのです

あります。

弟子どもはお互いが競争相手であり、目標は一番強い弟子と言うことになるから、努力次第でいくらでも強くなるのであります。

また、先生も弟子どもの打碁は批評してくださるから薬になるのです。

私は家庭の事情で東京へ行かれませんので、もっぱら独学でした。

今でこそ碁の本は懇切丁寧で、あらゆる

杉山さんは電力会社の重役で東京に本宅があり、名古屋には単身で住んでみました。私にとつてそのお言葉は地獄に仮の感じで、うれしかつたのは今も忘れません。

こうして私の東京遊学となつたのです。

まことに、上京し、お手配してあつた宿舎に旅装をといた翌日、日本工業俱

楽部へ連れて行つてくださいました。こ

こは財界有力者の集合されるところで、

囲碁部はなかなか盛んであり、瀬越憲作

先生も指導に来てみました。そのよう

なことで私は瀬越先生にお世話になるこ

とになり、赤坂溜池にあった日本棋院へ

の出入りを自由にしていただきました。

東京での勉強は約二ヶ月で、その間、

瀬越先生に一局、他の先生に三局打つて

いたときました。その他には毎日のよう

に棋院へ通つて手合の見学や誰彼となく

若手同士の対局をしました。

とにかく東京ではよく負けました。私の

碁は田舎碁で、力は無双に強いのです

が、布石の論理に暗いのが欠点で、布石で

やられてしまうのでした。

悔しかった二か月の東京生活で得た体

験は、やがて私の「ハボ筋」、田舎碁の開

眼につながり、それから数年経つ頃から

りきれない気持ちでおりました。

ある時、日頃蟲屋にしてくださつていなかか打つてもらいう機会はないし、外に

強い人はいないし、相手もないのです

あります。

弟子どもはお互いが競争相手であり、目標は一番強い弟子と言うことになるから、努力次第でいくらでも強くなるのであります。

また、先生も弟子どもの打碁は批評してくださるから薬になるのです。

私は家庭の事情で東京へ行かれませんので、もっぱら独学でした。

今でこそ碁の本は懇切丁寧で、あらゆる

甘言苦言
廊下

入口よければ：

秦梨小学校長

宇佐美利郎

初対面の第一印象は、その後の話題にこと欠かない事が多い。日頃の電話の応

待など、さわやかな声で、要領よく用件

を伝えてくれる人からかかると、会つてみたくなる。

私はある坊さんに「口と穴のきれいな人間は信用がおける。」と聞いたことがあります。事業所、学校、他家を訪問することが多い。入口に立つた時、敷居を一步ま

たいだ時、廊下を歩いた時、部屋に入つた時、ご不淨を借りた時に受ける印象に

主人や家人の心づかいと言うか、生きざまを見せつけられることがある。

学校の建築様式も固定化されつあるが、玄関に立つと、他校にはない雰囲気

に包まれることがある。校門の周辺、玄関、一步進めて職員室、校長室、廊下、教室へと移動するに従つて、玄関に立つ

た印象が一層鮮明になるのには頭がさがる。

その意味で廊下も学校の顔である。限

岡崎フィルハーモニー管弦楽団（岡崎）は十三年前の昭和四十七年に誕生した。現在、団員数は七十五名。小沢さんはその創始者の一人であり、常任指揮者でもある。

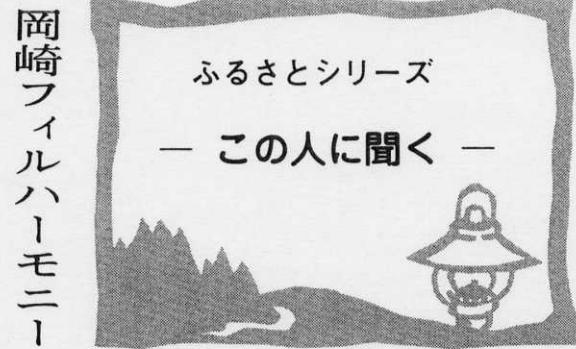
「ヨーロッパでは、オーケストラが文化都市のパロメーターといわれているんです。岡崎には岡崎吹奏楽団がありますが、その中に行く行くはオーケストラで、発展させていきたいと思つて、それが私を含めて数名いたんです。それに岩津高校の卒業生や一般の方にも、同じような気持ちをもつていた人がいましたね。」

岡崎フィルハーモニー管弦楽団（岡崎）は十三年前の昭和四十七年に誕生した。現在、団員数は七十五名。小沢さんはその創始者の一人であり、常任指揮者でもある。

「演奏会の時だけでなく、練習をしている時でも、音楽の深さを感じる瞬間があるんです。単なる楽しさではない。みんなきっと同じだと思いますよ。」

岡崎の活動は、毎年六月に開かれる定期演奏会をはじめ、団内の発表会や市民合唱団の演奏、さらにはバレエ団や教会での演奏など多彩である。

「定例の練習会は毎月第一・第三の日曜日に北部公会堂でやっています。公務員、会社員、教員、医者などさまざまです。よく『余暇の善用』といいます。が、岡崎には当時はまらないんですね。みんな余暇がない。それをなんと



ふるさとシリーズ

—この人に聞く—

小沢
一俊氏

岡崎フィルハーモニー

小沢さんは静岡大学を卒業すると同時に、現在勤務している岩津高校に生物の先生として赴任した。

「私が最初に楽器を手にしたのが高校のオーケストラ部に入つてからのことです。オーケストラは大学時代なんです。新任としてこの学校に来た時には、リードオーケストラ部がありまして、その顧問になつたんです。今のようなオーケストラ部に発展させるには十年かかりました。リードオーケストラの頃はアコーディオンを四十台ほど使っていましたが、それをバイオリンやビオラやチエロなどの弦楽器にかえていかなければならぬわけです。」

小沢さんは学生時代、金管楽器を吹いていた。弦楽器の指導も自分でできるようになると、バイオリンとピオラの稽古に名古屋に出かけた。

「演奏会の時だけでなく、練習をしている時でも、音楽の深さを感じる瞬間があるんです。単なる楽しさではない。みんなきっと同じだと思いますよ。」

うん

にと、バイオリンとピオラの稽古に名古屋に出かけた。

「演奏会の時だけでなく、練習をしている時でも、音楽の深さを感じる瞬間があるんです。単なる楽しさではない。みんなきっと同じだと思いますよ。」

岡崎の活動は、毎年六月に開かれる定期演奏会をはじめ、団内の発表会や市民合唱団の演奏、さらにはバレエ団や教会での演奏など多彩である。

「定例の練習会は毎月第一・第三の日曜日に北部公会堂でやっています。公務員、会社員、教員、医者などさまざまです。よく『余暇の善用』といいます。が、岡崎には当時はまらないんですね。みんな余暇がない。それをなんと

かやり抜いていく。仕事だけではない。子育てだけでもない。そんな証しを積み上げていくんです。」

音楽が好きでたまらないという小沢さんは、音楽談義にいつの間にか引つぱり込まれていく。

「私が技術面を担当していますが、運営面は磯村泉さん（市役所勤務）が一切をやってくれます。夢はすべて岡崎市民で第九がやれればと思っています。現在はプロの人たちの演奏ですが、手づくりに別の大きな感動があると思うんです。」

新香山中学校
鈴木祐男
気になること

新香山中学校

鈴木祐男

一日に幾度も通行する廊下や玄関、渡りの僅かな広さを上手に生かすことも、大切な環境づくりの一つである。そこから興味を持ち、創作が始まり、夢が大きくなるくらいいく。

られた空間の利用や細やかな気くばりが自ずと要求される。季節の花よし、朱書き入りのノート・絵画よし、立体展示の影刻よし。「入口よければ出口よし。」



住 所 岡崎市東蔵前町五反畠八十八
生年月日 昭和二十二年一月二十三日

近代的建築・鉄筋校舎の構造的な一面もあるが、教科の主体性が強い中学校では、朱書きを添えた展示物を見ると、その学校の姿勢や構え、先生の意気込みを感じ、心温まる思いがするものだ。

廊下の一隅に咲く一鉢に心を休め、先生の朱書きを見ると、その学校の姿勢や構え、先生の意気込みを感じ、心温まる思いがするものだ。

近隣の建築・鉄筋校舎の構造的な一面もあるが、教科の主体性が強い中学校では、朱書きを添えた展示物を見ると、その学校の姿勢や構え、先生の意気込みを感じ、心温まる思いがするものだ。

かに小学校に比べると穏やかな風景である。しかし、極めて稀ではあるが、壁面を生かして画廊的な役割を果たしている中学校もある。格調の高い鑑賞作品で、豊かな心を育てる工夫も必要ではないだろうか。今一つ廊下のことで気になるのが、歩行の仕方である。授業中は窓側を静かに歩くという常識的なことが、なかなか守れない。それにしても、上靴を音立てて、時、所を問わず歩く無神経な先生の多いのも驚く。これで生徒の歩行指導ができるのだろうか。ほんの一例にすぎないが、ふと不安になる今日この頃である。

新任教員座談会



岡崎市の若い教師の占める割合は、年
年ふえてきている。若い教師への期待は
大きい。そこで、本年度新任教員百二十
名を代表して十名の方に集まっていただ
き、現場生活六か月の感想や抱負を語つ
ていただきたい。この声を、どう受けとめ
どう応えるかは、先輩教師の重要な責務
ではないだろうか。

出席者（敬称略）――

今枝 武司（秦梨小）	清水 隆史（梅園小）
高橋 知子（小豆坂小）	永田 雅章（六名小）
原田 尚子（大樹寺小）	
鈴木由紀子（葵中）	
高鉄 利行（福岡中）	
柴田多津彦（六ツ美中）	
山田 一乃（甲山中）	

現場6か月の声

教師へのきっかけ

司会 いよいよ仮採用六か月が過ぎて、本採用となるわけですが、この間の体験を今日は率直に語っていただきたいと思います。まずははじめに、教師になろうとしたきっかけを話してくれませ

んか。

A 高校の時の先生がよくて、そんな先生になりたいなあと思ったのがきっかけです。マスコミなどで、先生がぶん

なぐられるとかいっているので、そんなにえらい仕事なら、挑戦してみようと思いました。

B 小学校三年まで女の先生だったが、四、五、六年と新しい男の先生に連続して教えてもらいました。この先生が「おれについてこい」式の先生で、手は出る、足も出るんだけど、ちゃんと心が出てくる先生で、ああいう心の出る先生に魅力を感じました。

C 私は以前会社に勤めておりました。ある日、古本屋街を歩いて目とまつたのが、ペスタロッチの伝記なんですね。感動して読みました。こんなに美しい生き方というか、素晴らしい仕事つてないなと感動しまして、その時、教員になる決意をしました。それから、四年半かかって、通信教育で教員の免許をとりました。

D 私の場合は、子どもが好きということもあるけれど、女性の職業としていななど思つたからです。人間相手の仕

事がしたかつたんです。なつてみて、よかつたなと思つてます。

司会 いい先生との出会いというのが、きっかけとして多いですね。人間的魅

力が、いかに大きいかということですね。

かかえている問題

司会 つぎに、六か月経った現在、持ちあがつてある問題、悩んでいることがあつたらお話をください。

E 子どものことではないですが……。

教師は型にはまつた小さい人間ではなく、もっと広く大らかというか、いろいろな経験のある人でなくてはいけないと思います。子どもと一緒にいる、自分は、こんな世間知らずでいいのかなと思つてしまします。一生懸命やつても、学校と家しか知らないような、狭い人間なので、私の枠に合わない子はどうするのかと言われたら、考へてしまします。

司会 自分自身の人間性の問題が出てき

ましたが、どうですか。

F 今、大学の先生の話を聞きたいんですけど。ぼくは保健体育が専攻ですが、体育で何を教えるかよく考へるんです。やつぱり心、心の問題だと思います。

形成評価とか視聴覚利用とか、技術的なことも大事だが、心のぶつかり合い、本音の交流をクラスの中ぜひ実践していきたいと思います。

「ありがとうございます。」「すみません。」「はい。」

せるようにした。だから、今になつて、大学の先生の話を聞いて勉強したいと思うんです。

G 今の子どもは、勉強勉強で、欲求不満になり、子どもしさが感じられないような気がします。

子どもには、先生の生きる姿が一番大切だと思います。

私は、先輩の先生に「あなたは大雑把で教員に向いてないから辞めてほしい。」と言われ、ガクッときました。ノートの使い方指導も大事だと反省しましたが、ノートよりハートが大事だと思います。

A 社会的にいろいろなことを知りたい

ということも大切ですが、それ以上に、私は毎日毎日の生徒との取り組みの中から教わることがとても多くて、自分

の人間としての幅がひろがっていくよ

うな気がします。生徒は、一人ひとり違った考え方をするんだなとか、その

背後の家庭環境とかが視野に入つくるので、それが自分にとって新鮮で

子どももから教わるという意識を持つことは、成長する先生の姿勢として大切ですね。先生の予測以上の動きが子どもにある時、教えられるんです。

司会 子どもから教わるという意識を持つことは、成長する先生の姿勢として大切ですね。先生の予測以上の動きが子どもにある時、教えられるんです。

D 私は、余裕のないことが問題です。

新任教研で、叱るよりもよほど子どもと遊べ、出勤したら教室へ行って子どもたちを見よとか、いろいろ教わりま

した。ところが、授業はよそより遅っているので早く進ませなきゃいかんし、やれ運動会の準備練習とか、朝の部活動とか、あわただしいばかりで、なかなか笑つたりほめたりできません。子どももむだ話ができる余裕がほしいです。

めざす教師像

H 司会 最後に、これから私はこういう方向で行きたいというめざす教師像をお話願えませんか。

H クラスに何もできない子がいました。親も認めているんです。

何か一つできるようにしてやろうと髪の毛をとくこと、歯を磨くことを毎日一緒にやってやつたら、できるようになります。ブームも赤帽だったが、夏休みのプール開放に来させて指導したら、水泳大会では五百メートル泳いだんです。思わず抱きしめました。

J 「あの子はできない。」といった固定観念の枠を打ち破る仕事をしていきたい。私は、初めの頃、全部私の指示で動かす一方的な授業になつていました。子どもを前面に出した授業がやれるようになりたいと思っています。

K 教師は、情熱があればいいと思つたけれど、先輩の授業を見せていただいくと、基礎・基本がおさえられているので、やっぱり違うなと感じました。「おれについてこい。」だけでは、子どもの力にならないと思うので、授業の

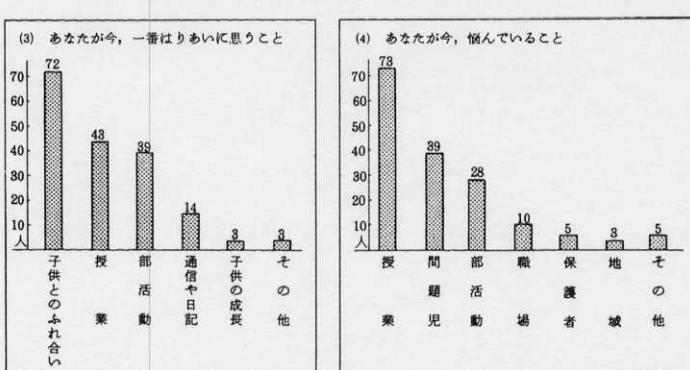
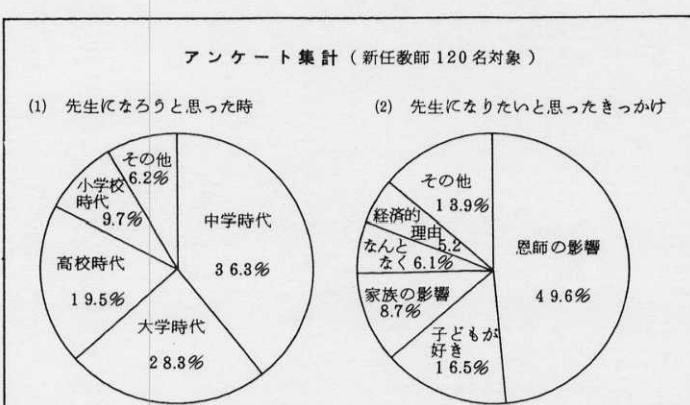
しつかりした教師になれるようにがんばりたいですね。

F とにかく、楽しく出勤できるために解ができきやあいかんし、教材研究もよくやらないと自信なんかわいてこん。今のぼくは、勉強する以外にな

なと思っています。事に入った皆さんのが、大変やる気にな

つて、より本質的なものを熱心に求めているらしやる声をうかがつて、先輩としてむしろ、慣れに浸つていはしないかと、反省させられる面もありまし

た。人間の心と、教育技術の問題が常に話題となりましたが、これを個々にばらすのではなく、統合するものとして授業があると思います。授業が日々新鮮であるように、厳しい自己研修の道と一緒に歩みたいと願います。



こどもと自然

常磐南小 三浦重光

「先生、ネットを貸してください。」

「どうして。」

「ミドリヒヨウモンが、そこの庭にいるので。」

あわてて、職員室に入つて来たM子。

M子をはじめとした今六年生は、何がどう気に入つたのか、チヨウに強い関心を持つている。

それは、異常なほどのこだわりである。放課になれば必ず、誰かが図鑑を開いて、ジーッと見入つているのだ。先日も突然こんなことを言つてきた。

「先生、この間ね、うちのお母さんによく連絡があった。」

「どうして。」

「お、お、八重山はね、台

湾に近い沖縄の端だよ。」

「へえ、そんな遠い所か。」

子どもの夢は、はでなく広

がり、「世界の蝶」の図鑑も見

たいと言つた。

そんなことのきっかけとなつたのは、常南タイムである。

この常南タイムは、週一回、地域の生物を観察するために設置されたものである。観察の対象となる生物は、各学年ごとに決められ、六年生は昆虫となつてゐる。この活動は、すでに八年目に入り、子どもたちにも大変親しまれている。しかし、これほど好かれたことは、過去になかつた。不思議なくらいチヨウ、チヨウチヨウである。

そんな常南の子にも、気がか

りなことがある。常南の自然の先行きを見ると、決して明るく

ないものである。岩中町には、ゴルフ場の建設が計画されている。田口町の山々は削り取られ

さんに頼んじやつた。このメスアカムラサキ、あんまりきれないので、見に連れてつてと言つたら、「いいよ」だつて。だけど、先生、八重山諸島は、どこにあるの。」

「おい、おい、八重山はね、台

湾に近い沖縄の端だよ。」

「へえ、そんな遠い所か。」

子どもの夢は、はでなく広がり、「世界の蝶」の図鑑も見

たいと言つた。

そんなことのきっかけとなつたのは、常南タイムである。

この常南タイムは、週一回、

地域の生物を観察するために設

置されたものである。観察の対

象となる生物は、各学年ごとに

決められ、六年生は昆虫となつ

てゐる。この活動は、すでに八

年目に入り、子どもたちにも大

変親しまれている。しかし、こ

れほど好かれたことは、過去に

なかつた。不思議なくらいチヨウ、チヨウチヨウである。

そんな常南の子にも、気がか

りなことがある。常南の自然の先行きを見ると、決して明るく

ないものである。岩中町には、ゴ

ルフ場の建設が計画されている。田口町の山々は削り取られ

ている。これほどまで、自然を愛する子が育つていながら、片方では、どんどん自然が減少しているのは皮肉なものである。

愛する子が育つていながら、片方では、どんどん自然が減少しているのは皮肉なものである。

教育しかできないのだろうか。

自然を脳裏に焼きつけておく

教育しかできないのだろうか。

一 番

六ツ美中 金丸直子



六月下旬のある日、級長がいつなく改まつた口調で職員室の入口まで私を呼んだ。

「先生、きようの数学の時間はバレーボールの練習に使わせてください。みんなの希望です。」

この成績にも不満気な顔をしていたが、

「男女そろつての準優勝なら総合成績では一番ではないか。」

おしらせ



◆寄贈刊行物・資料等

◆生活をみつめる六ツ美の子

「文章表現力を高める作文指導」

六ツ美中部小学校

◆作文指導事例集——段階別指導

六ツ美中部小学校

B5 孔版印刷

全国学校音楽コンクール

銅賞六ツ美北部小学校

東海北陸優秀校に矢作中学校

昭和六十年度(第五十二回)

〈中学校の部〉

- 最優秀校 矢作中学校
- 〃 甲山中学校
- 〃 南中学校
- 優秀校 福岡中学校

小学校合唱クラブが、全国小学校

校第三位にあたる銅賞を獲得し

た。

中学校の部では、矢作中学校
合唱クラブが東海北陸大会で、
優秀校に選ばれた。地区予選からの主な結果は、
次の通りである。

■西三河地区大会(九月十六日)

〈小学校の部〉

・ 最優秀校 奥殿小学校

・ 優秀校 広幡小学校

・ 優秀校 羽根小学校

・ シード校 六ツ美北部小学校

・ 優良校 甲山中学校

・ 最優秀校 矢作中学校

・ 優良校 広幡小学校

昭和六十年度「ソニー理科教

育振興資金」優秀賞に広幡小学校

が選ばれ、助成金百万円と八

ミリビデオやテレビなどの機器

一式を受けた。

なお、優良校には梅園小学校、

その結果、次の三作品が見事

準岡崎一=井上義代(竜海中)

准岡崎一=大美幸江(城北中)

石田こずえ(附属中)

◆寄贈刊行物・資料等

◆生徒指導の記録

「生徒たち私たち」

六ツ美中部小学校

◆自ら取り組む心と体の健康

B5 五五ページ 愛宕小学校

◆生徒指導の実践

A6 五九ページ 南中

■第17回中日教育文化賞に井田

小学校

■中部九県下の教育現場で成果

をあげた個人、団体に与えられ

る中日教育文化賞に井田小学校

が選ばれた。

井田小学校は、「独自に開発

した体力づくりの実践」を永年

継続しており、その成果が認め

られたものである。表彰式は十

月十九日、名古屋の中日新聞本

社で行われた。

■愛知県大会(九月二十三日)

〈小学校の部〉

・ 最優秀校 六ツ美北部小学校

・ 優秀校 羽根小学校

・ 優良校 広幡小学校

■ソニー理科教育優秀賞に広幡

小学校

■全国放送教育賞論文NHK会

長賞に高木和広教諭(美川中)

■よい歯の児童・生徒

■男子岡崎一=近藤弘康(北野小)

十月三日、城南小学校で行わ

れた「岡崎市よい歯の児童・生

徒」の実地審査結果は、次のと

おりである。

〔小学校〕

男子岡崎一=近藤弘康(北野小)

準岡崎一=安達正典(岡崎小)

〃=加藤大幸(童美丘小)

女子岡崎一=若森由紀子(本宿小)

準岡崎一=山田里美(童美丘小)

〃=村井美紀(六中小)

■全国自作視聴覚教材コンクールに三作品が入選

〔中学校〕

男子岡崎一=榎原和征(東海中)

準岡崎一=山本英森(美川中)

芳田知弘(城北中)

女子岡崎一=井上義代(竜海中)

准岡崎一=大美幸江(城北中)

石田こずえ(附属中)

教大附属中学校。努力賞に矢作

南小学校、緑丘小学校が選ばれた。

会と現職教育社会科部共同制作の自作ビデオ教材作品

「中小企業は今—岡崎の二

ツトー」(中学社会科)

◇三浦重光教諭(常磐南小)制

作の自作ビデオ教材作品

「梅雨時のチヨウ」(小六ゆとりの時間)

表彰式は十二月六日、東京で

行われる。

◇視聴覚ライブラリー自作委員

教材作品

「三河仏壇」(小五社会科)

・「中小企業は今—岡崎の二

ツトー」(中学社会科)

・「三浦重光教諭(常磐南小)制

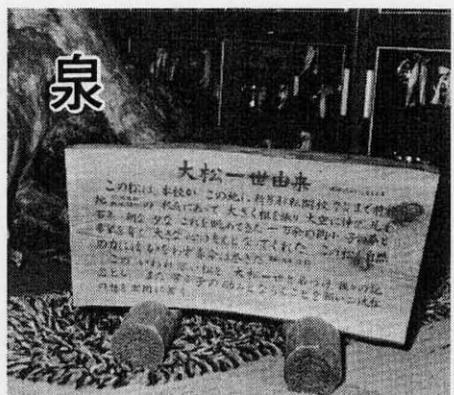
作の自作ビデオ教材作品

「梅雨時のチヨウ」(小六ゆとりの時間)

表彰式は十二月六日、東京で

行われる。

岡崎小学校の大松



岡崎市針崎町

岡崎小学校の玄関を入つたと

ころに、よく磨かれた大きな松の根っこが、足をふんばつとうな姿をして据えられている。「大松一世」の根っこである。中心は腐って空洞になつてゐるが、残つた年輪（切り口の直徑約八十センチ）から、樹齢百六十年以上を経てゐると推定される。

岡崎小学校の前身である羽根学校が、明治六年、覚照寺に開校し、六年後に、その東（現南部长第十二代校長・兵藤正雄氏）校庭にあつた松はそのまま残され、それ以後「大松」として親

しまれしてきた。

子どもたちには「この大松のよう」に強く、たくましく伸びよ」と教えてきた「大松」も、昭和五十四年、松くい虫のために枯死し、その根っこを残すのみとなつた。

この大松を見て育つた同窓会有志は、すぐに新しい松をさがし、ブール北側へ植え、「大松二世」と名付けた。

岡崎小学校に勤務した歴代の先生で作つてある「大松会」（会長第十二代校長・兵藤正雄氏）の名称は、この松に由来する。

大阪万博跡地に「世界民族博物館」がある。丸木舟のかい一本をとつてみても

その造形のすごさ、自由さに足のすくむおもいがする。そこに住み、この道具を使つた人々の生きざまを見る。

ことしの「おかざき子供展」にも、子どもの世界が、生命が息づいている作品を期待したい。

**シ
オ
ス
ア**

赤蜻蛉地蔵の顔の夕日かな

あれほどにぎやかだった自然界の虫たちも急に静かになり、それぞれ冬の仕度に入つたようだ。虫たちの姿を見かけなくなると、アカトンボが特に目立ちはじめ、季節感をそそられる。

陽だまりに全身を茜色にした小さな生命が飛び交つている。

魚を飼いはじめた。

自分自身の勉強への気迫、子供への情熱など若い先生たちの発言には活気がみなぎつていた。自分の信ずるところに従つて、体当たりでぶつかつてゐる姿に、駆け出しの頃の自分を思い出す。子どもの中に昨日と違うものを見つけることのできる教師でありたい。

毎年この時分になると、目標もなく、必ずべきこともなきことに学校通りをする中三が出現する。魅力ある授業づくりが先決であることは勿論だが、何にしても「やりがい」を見つけてやらなければならぬ。熱帯魚飼育以上の何かを。

この本を

* ドイツ的発想と日本の発想	小塩 節
三修社	¥ 420
* 思いやる心の物語	鈴木健二
主婦と生活社	¥ 1000
* ことばの四季報	稻垣吉彦
中公文庫	¥ 480
* 暮らしの気象学	倉嶋 厚
草思社	¥ 1300

☆粹と野暮のあいだ	高橋義孝
P H P 文庫	¥ 400

こんなに安くて、小さな本が、どうしてわれわれの心に響き、身に滲みるものかと、まず驚く。

「粹」と「通」の達人が、心・頭・体・世事一般から落語・謡曲・文学・絵画・日本語考と、心のままに綴った随筆60編である。

硬軟とりどり、内容も多彩・複雑で、「堅気」というぐっと通つた1本の線の上で価値判断を下しているからこそ、粹と野暮との相違を読む人に納得させていく。